

目標達成計画

作成日：平成 22 年 4 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	行動障害が周囲まで影響を与えている入居者から、他の入居者を守るために、その方の隣室に施錠している。2階の階段部分にも柵と施錠をしていたため、他の入居者に対しての行動の抑制になっている。	身体拘束の内容とその弊害について全職員が認識する。外部の専門職の助言も受けながら拘束をしないための支援に取り組む。	・身体拘束の内容「介護保険指定基準において禁止の対象となる具体的行為」について、会議・勉強会を開催し、全職員の共有を図っていく。 ・ミーティングや日々の申し送り時などで、日々の業務を振り返り、自覚していない身体拘束が行われていないかを点検する。	3ヶ月
2	5	市町村担当者との連携が密に取れているとは言えない。	困難事例など施設で抱え込まず市町村担当者にも相談し、選択肢を広げる。	・市町村担当者へ現在抱えている困難事例などについて相談をする。	3ヶ月
3	27	介護記録に介護計画書のケアの内容の反映ができていない。	介護計画書に沿って介護記録を記載することが出来る。(評価する時も参考となるような記録とする) 日常生活のチェック表等の見直し	・全職員でケアプラン、介護記録について検討する。 ・日常生活上のチェック表等の重複記載について全職員で検討する。 ・他のグループホームと情報交換を行い、見直しを行っていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。